

# 楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.27

日時	2013年7月29日
行脚先	自凝島神社
住所	兵庫県南あわじ市（淡路国）
行事名	

## 特徴

自凝島神社(おのころじまじんじゃ)は伊弉諾命(イザナギノミコト)・伊弉冉命(イザナミノミコト)を主祭神として、菊理媛命(キクリヒメノミコト)を合祀する神社です。

『古事記』によりますと、次のように記されています。

「イザナギノミコト(男神)とイザナミノミコト(女神)が国生みの際、「天浮橋(あまのうきはし：天と地を結ぶ宙へ浮く橋で、神はこの橋を渡って地へ降りるとされています。)」に立ち、天沼矛(あまのぬぼこ)をまだ何も出来ていない海原に下ろし、かき回しました。矛を持ち上げると、滴り落ちた潮が積もり重なって自凝島になりました。両神はこの島に降り立つと、淡路島を始めとする大八洲(おおやしま)を造りました。」

自凝島神社が鎮座する丘が、まさに両神による国産み・神産みの舞台となった自凝島であると伝えられています。高さ21.7メートルの大鳥居は平安神宮及び厳島神社と並び「日本三大鳥居」の一つに数えられています。

## 黒田官兵衛との関わり

官兵衛は四国征伐の前準備として、わずか3日で淡路島を制覇したと言われています。

当地は、厳密には直接黒田官兵衛との関わりは不明です。しかし、あらゆる学問に精通していた官兵衛ならば、自凝島と淡路島に関わる逸話も当然知っており、淡路制覇においてこの地を意識し、多少なりともゆかりはあったと私達は考えます。

また、楽踊楽座は日本全国を元気にしたいという強い思いがあり、その一環として全国行脚活動を行っています。国産みの舞台となった自凝島神社に是非ともあやかりたいと思い、行脚箇所の一部とさせて頂きました。

## 記録

